

令和4年度 第3回岡山市総合教育会議

日 時：令和5年2月7日（火）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

- ・岡山市教育大綱がめざす子どもの育成に向けて

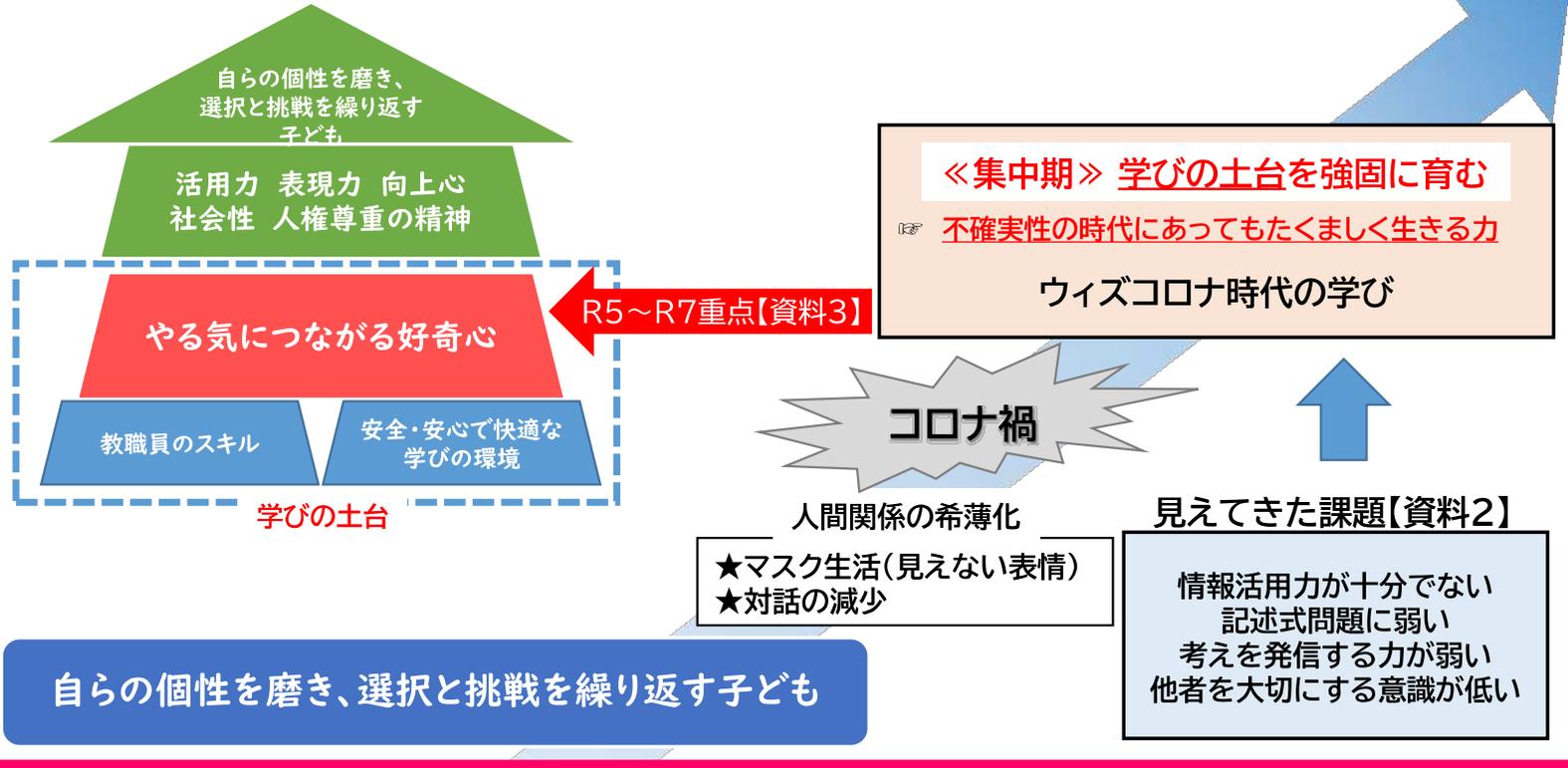
3 閉 会

第2期大綱で目指す子ども実現のため、新体制で目指す岡山市の教育

第3回岡山市総合教育会議
令和5年2月7日
教育委員会

第2期教育大綱 (R3~R7)

資料1



自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返す子ども

第1期教育大綱 (H29~R2)

《変革期》 学力を取り戻す

学力を
全国平均レベルに
⇒達成

しかし

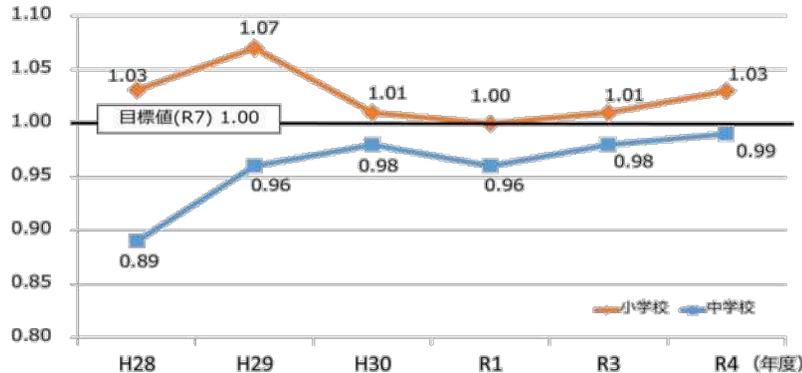
次のステップへ

子ども一人一人が社会に貢献し、自他の幸せを創造できるようになるために必要な、活用できる学力と、粘り強さや社会性を育てる。

予測が困難な、激動の時代であっても、よりよく生きるためには、点数で計る学力だけでは足りない。

①自分の考えを整理して伝えることができる児童生徒の増加

全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比（岡山市平均）／（全国平均）

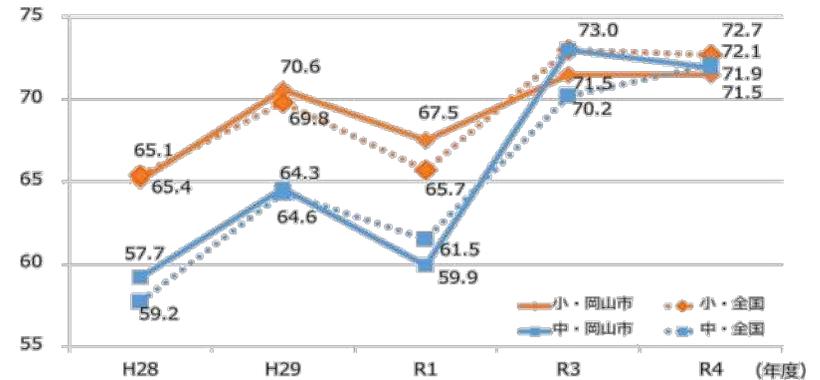


※R2は調査なし

資料：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

②情報を収集し、考えをまとめて発表している児童生徒の割合

「探究的な学習をしている」と回答した児童生徒の割合



小・目標値(R7) 全国平均

中・目標値(R7) 全国平均

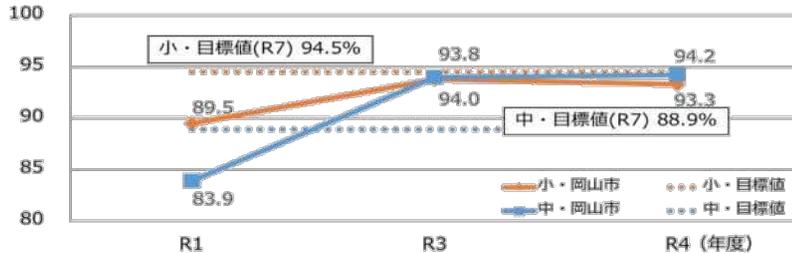
※H30は質問項目なし

※R2は調査なし

資料：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

③協力しようとする児童生徒の割合【参考】

(%) 「協力して取り組んだことがうれしい」と回答した児童生徒の割合



R2は調査なし

※R3は「楽しいと感じる」と質問が変更されているため、参考として扱う。

資料：全国学力・学習状況調査（文部科学省）

【参考値】

令和4年度岡山市教育に関する総合調査

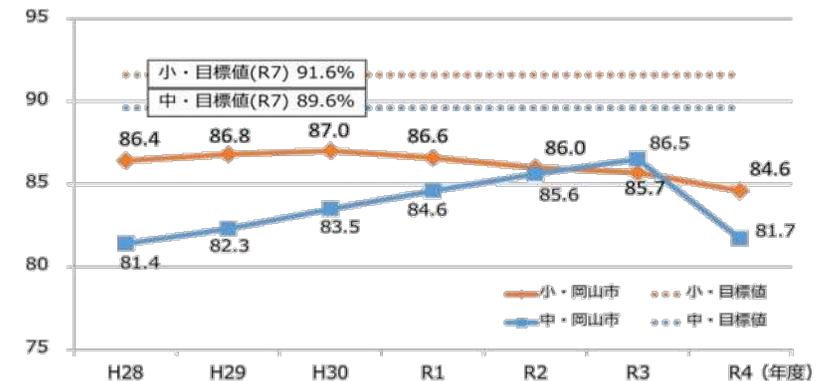
「協力して取り組むことがうれしい」と回答した児童生徒の割合

小学校・・・88.3% 目標値(R7)・・・90.8%

中学校・・・87.6% 目標値(R7)・・・90.1%

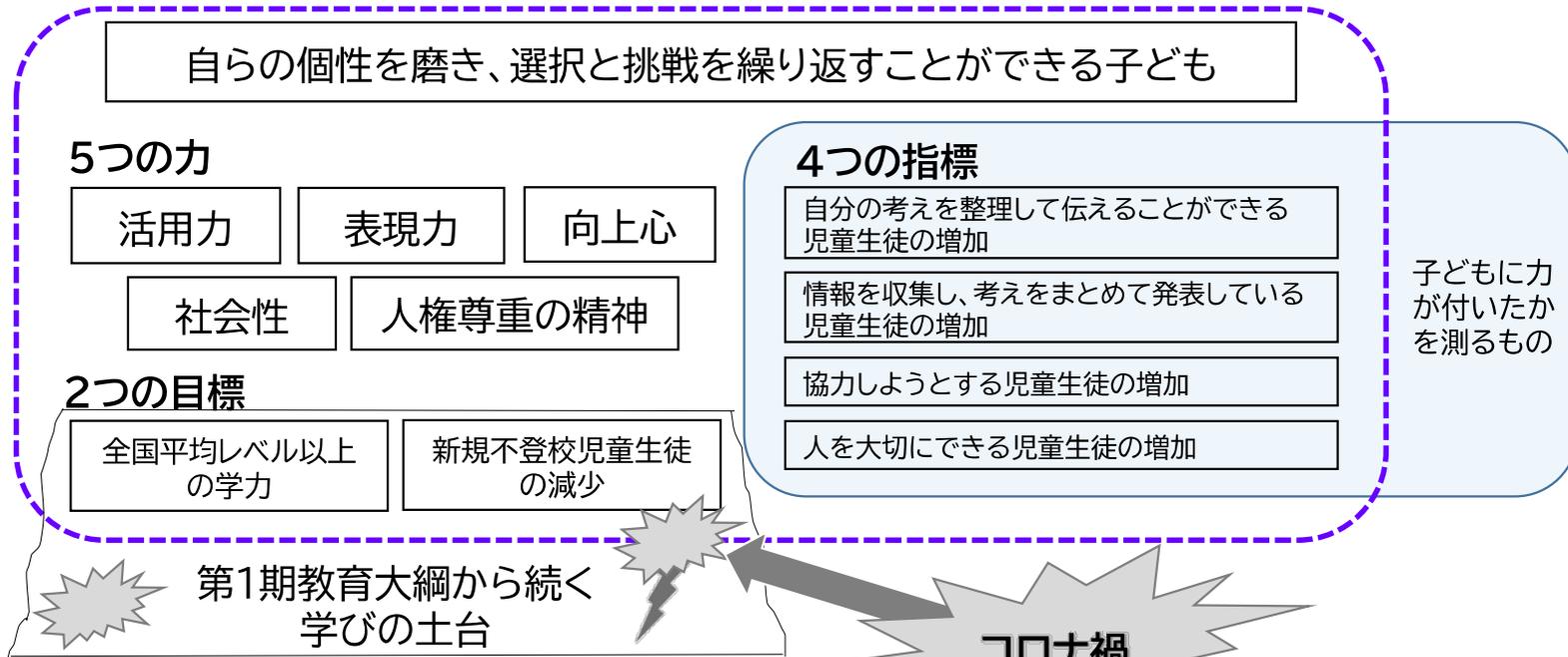
④人を大切にできる児童生徒の増加

(%) 「人が困っているときに進んで助ける」と回答した児童生徒の割合



資料：岡山市教育に関する総合調査

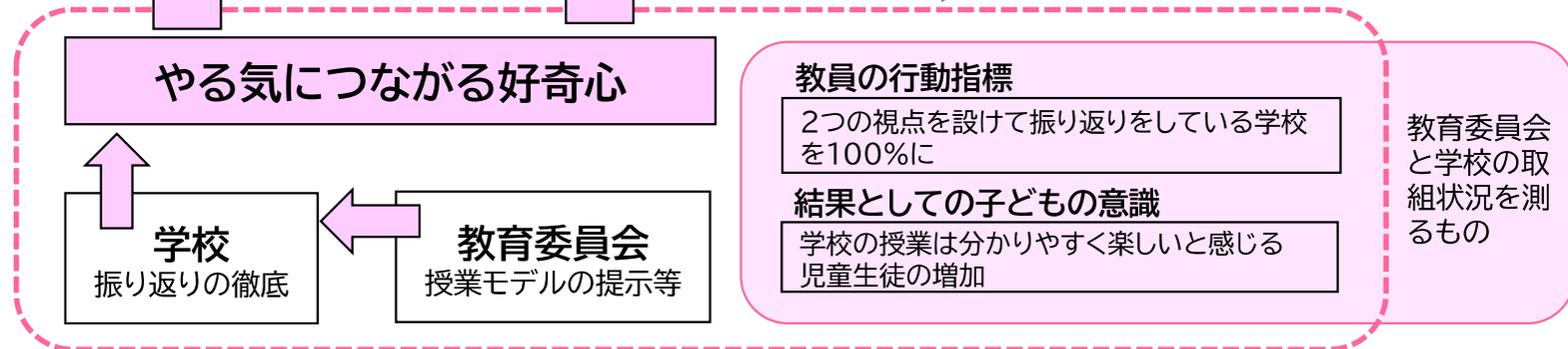
第2期教育大綱



【資料4】

より強固に

R5～R7重点



《最重要課題》

- ① 他者との関わりを通じた気付きを実感できるようにすること
- ② 学ぶ意欲の素となるものをより確かなものにする

そのために

学校は

○すべての学校で、振り返りを徹底する。

視点

- ・友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたか。
- ・学習した内容について、もっと知りたいと感じたか。

そのために

教育委員会は

○授業モデルのリーフレットを作成し、授業の振り返りができるよう積極的に支援する。

○学校や家庭で行える「好奇心につながる取組」を支援する事業を充実する。

指標の例

○2つの視点を設けて振り返りをしている学校 85.5%(R4) ⇒ 100%(R7)
(振り返りをしている小中学校の割合)

○「学校の授業は分かりやすく楽しい」と回答した子どもの割合

小学校 83.3%(R3) ⇒ 81.5%(R4) ⇒ 87.0%(R7)

中学校 75.5%(R3) ⇒ 71.9%(R4) ⇒ 82.0%(R7)